

# CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

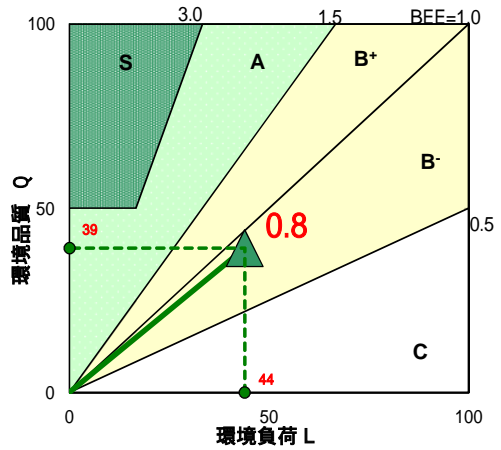
建物概要				外観	
建物名称	(仮称)ホームプラザナフコ芦北店新	階数	地上1F		
建設地	熊本県葦北郡芦北町大字花岡309-	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内(未線引区域),法第2	平均居住人員	100人		
気候区分	地域区分	年間使用時間	6,570時間/年		
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2015年4月 予定	評価の実施日	2014年10月15日		
敷地面積	7,270 m <sup>2</sup>	作成者			
建築面積	2,248 m <sup>2</sup>	確認日	2014年10月20日		
延床面積	2,248 m <sup>2</sup>	確認者			

## 1 CASBEE評価結果

**建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)**

★★★★★

**BEE = 0.8**      ■ BEE(環境効率) =  $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$



■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

**ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能 (ランク表示)**

☆☆☆☆☆

**排出率**

**87%**

## 2 熊本県重点評価結果

**重点事項総合評価**

☆☆☆☆☆

**評価点**

**73**

熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	☆☆☆☆☆
80点以上100点未満	☆☆☆☆
60点以上80点未満	☆☆☆
40点以上60点未満	☆☆
40点未満	☆

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進      **76.2**

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現      **62.5**

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全      **70.0**

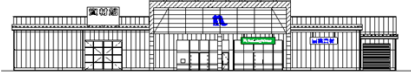
【重点事項4】 循環型社会の実現      **81.7**

評価点は、100点以上が推奨です。

# CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。  
 使用評価マニュアル：CASBEE-熊本(評価版)2010年改訂版Ver.2 (SPVBE対応) 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホームプラザナフコ芦北店新	階数	地上1F
建設地	熊本県葦北郡芦北町大字花岡309-	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(未線引区域),法第	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分	年間使用時間	6,570時間/年
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年4月 予定	評価の実施日	2014年10月15日
敷地面積	7,270 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	2,248 m <sup>2</sup>	確認日	2014年10月20日
延床面積	2,248 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参照値 100%  
 建築物の取組み 87%  
 上記+ 以外の 87%  
 上記+ 87%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

### 3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 評価点 = 73

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 76	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 63
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 70	重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 82

#### 重点事項の評価(レーダーチャート)

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 'ライフサイクルCO<sub>2</sub>'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-新築(簡易版)2010年追補**  
**(仮称)ホームプラザナゴヤ北店新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPIBE対応)

評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei\

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.8</b>	0.15	-	-	-	-	<b>1.8</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>		<b>1.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	1.00	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	-	-	-	-	<b>2.6</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 室温		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.17	-	-	-	-	
4 ゾーン別制御性		<b>3.0</b>	0.33	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 昼光率		-	-	-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		-	-	-	-	-	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>		-	-	-	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
<b>4 空気環境</b>		<b>3.1</b>	0.25	-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	仕上げ材は規制対象外を使用する記載	<b>4.0</b>	1.00	-	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
2 自然換気性能		-	-	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		<b>1.0</b>	1.00	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.3</b>	0.40	-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	1.00	-	-	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	売り場CH=5.00m	<b>5.0</b>	0.33	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		<b>3.0</b>	0.33	-	-	-	-	
3 内装計画		<b>1.0</b>	0.33	-	-	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>		<b>4.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	トイレ壁:化粧ケイ酸カルシウム板使用、床面磁器質タイル使用	<b>4.0</b>	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保	掃除用具入れ、流し台、廃棄物保管庫、清掃用流し設置。	<b>4.0</b>	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.31	-	-	-	-	<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-	-	-	
1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.0</b>	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管、排水管にB使用かつE不使用	<b>5.0</b>	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-	-	-	

2.3 適切な更新				-	-	-
2.4 信頼性			2.6	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-
1	階高のゆとり	階高 = 5.7m	5.0	0.60	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 0.1	4.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率設備機器の導入、LED照明の採用	4.0	0.30	-	4.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	4.0		-	-
		集合住宅の評価	3.0		-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15	-	3.4
1.1	節水	節水コマ・節水型便器使用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用、床Pタイル	4.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	外壁+軽鉄+仕上げ材	4.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-
1	消火剤	第3種浸潤剤入り水使用	4.0	0.33	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していない	5.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2概算値 = 87%	3.5	0.33	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器不使用	5.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-

# CASBEE<sup>®</sup> 熊本 《新築》 【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

化学汚染物質の汚染への配慮、水資源、非再生資源の使用量削減を行うなど、地球環境に貢献している。

### Q1 室内環境

・内装材には全面的にF                    を使用し、化学汚染物質による汚染に配慮している。

### Q2 サービス性能

・階高を5.7m確保し、ゆとりをもたせることで、更新性・対応性に配慮している。  
・防汚性の高い内装材を使用し、清掃用流しや、廃棄物保管庫を設置するなど、維持管理に配慮している。

### Q3 室外環境（敷地内）

### LR1 エネルギー

・高効率設備機器の導入、LED照明の採用など、設備システムの高効率化に配慮している。

### LR2 資源・マテリアル

・節水コマ・節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮している。  
・再生骨材の路盤材利用・床材にリサイクル材を使用するなど、非再生資源の使用量削減に配慮している。

### LR3 敷地外環境

・屋外照明および屋内照明のうち外に漏れる光について対策を行い、周辺環境に配慮している。

### その他

## 熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)ホームプラザナフコ芦北店新築工事

評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010\_kmt2011(v3.0)

使用評価マニュアル: CASBEE熊本(新築)2011年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		73.3
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
温室効果ガス排出量削減の推進				76.2	0.40	30.48
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.07			
Q1-3.2.2	昼光制御	0.0	0.00			
LR1 1	建物の熱負荷抑制	2.0	0.15			
LR1 2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1 3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3 2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
安全安心で暮らしやすい社会の実現				62.5	0.20	12.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
県の地域資源の有効活用と保全				70	0.20	14.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
循環型社会の実現				81.7	0.20	16.34
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

## 評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

## 総合評価結果

$$\text{総合評価点} = (\text{各重点事項の評価点} \times \text{各重点事項の重み係数}) \text{の総和}$$

重み係数の総和は、「1」であること。

## 各重点事項( ~ の項目)

$$\text{評価点} = (\text{各重点項目のスコア} \times \text{各重点項目の重み係数}) \text{の総和} \times (5/4) \times 20$$

重み係数の総和は、「1」であること。

(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数